

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016 年 7 月 13日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ANU
卒業・修了後の就職(希望)先:			
( )1.研究職 ( )2.専門職(医師・法曹・会計士等) (○)3.公務員 ( )4.非営利団体 ( )5.民間企業(業界: ) ( )6.起業 ( )7.その他( )			

<b>派遣先大学の概要</b>					
オーストラリアの首都キャンベラに位置する総合大学。					
<b>留学した動機</b>					
国際関係論を学ぶ中で、身近なアジア地域に特に関心を持ち、アジア・太平洋学が学部として独立しているANUへの留学を決めました。					
<b>留学の時期など</b>					
①留学前の本学での修学状況:	2015 年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2015 年	7 月～	2016 年	6 月	
	年時に出発				
④留学後の授業履修:	2016 年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017 年	学部5	年生の	4 月頃に	
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		46	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			10 単位	
	留学後の取得(予定)単位			56 単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013 年	4 月入学	2018 年	3 月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5 年		ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					
交換留学が認められる学年になったらできるだけ早い段階で留学したかった。					
<b>留学の準備</b>					
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)					

ANU側もこまめに連絡を返してくれるので、不明な点などはメール等で聞くと思います。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

755ビザ。事前に健康診断を受ける必要があります。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

上述の健康診断と歯科検診に行きました。常備薬は持参したほうが楽だと思います。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学指定の保険に入りました。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

単位振替は事後承認にしかならないようなので、事前に互換可能かは確認できませんでした。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

申請要件を満たすためにIELTSを受けました。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

常備薬。だいたいのは現地で買えます。

**学習・研究について**

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定 の申請	授業科目名	単 位 数	単位認定 の申請
ASIA2049	6	●	GEND1002	6	●
ASIA3029	6	●	GEND2023	6	●
ASIA2072	6	●		6	●
ASIA1030	6	●			
ANTH1004	6	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

<p>予習重視で毎週のチュートリアルに準備に時間をかけました。</p>
<p>③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など</p>
<p>3-4科目。現地では1科目あたり6単位です。たいてい週2時間のレクチャーと1時間のチュートリアルがありました。</p>
<p>④学習・研究面でのアドバイス</p>
<p>全ての授業が録音されていて後から再視聴できるので、活用すると思います。</p>
<p>⑤語学面での苦勞・アドバイス等</p>
<p>はじめは授業が聞き取れず苦勞しましたが、何度も授業を聞いたり、事前にレジュメ内の知らない単語を確認しておくだけでだいぶ違いました。</p>
<p><b>生活について</b></p>
<p>①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)</p>
<p>キャンパス内の自炊寮。1-2年生が多いです。</p>
<p>②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)</p>
<p>年中乾燥していますが、夏暑く冬寒いです。公共交通機関は電車がなくバスですが、自転車があれば楽に移動できます。日本からのクレジットカードと別に、現地で口座を作りました。</p>
<p>③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)</p>
<p>深夜に1人で出歩かない限り、身の危険を感じることはほぼないと思います。</p>
<p>④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)</p>
<p>・毎月の生活費とその内訳</p>
<p>食費での支出が主でした。外食では一食15-30ドルほどかかるので、自炊すると少し減らせると思います。</p>
<p>・留学に要した費用総額とその内訳</p>
<p>航空費往復10万ほど。家賃月8万ほど。一ヶ月あたり7万ほどの支出があったと思います。</p>
<p>⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)</p>

JASSO
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
アルバイト, 旅行, クラブ活動を行っていました。
<b>派遣先大学の環境について</b>
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
留学生受入れに非常に慣れており, サポート体制はしっかりしていると思います。
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
24時間の図書館があり, ジムなども安く利用できます。食堂はなく, 5つほど店が入っているフードコートがあります。
<b>留学と就職活動について</b>
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響
就職に対する考え自体はあまり変わりませんでした, オーストラリア人の労働意識の高さ(福利厚生の実)と賃金の高さには学ぶ点がありました。
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください
( )1.研究職 ( )2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) ( )3.公的機関(機関名: ) ( )4.非営利団体(団体名又は分野: ) ( )5.民間企業(企業名又は業界: ) ( )6.起業(分野: ) ( )7.その他( )
<b>留学を振り返って</b>
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
多様性を受け入れること, 互いに認め合うことの重要性を身を持って実感した一年でした。日本とは異質な人種のるつぽに身を置くなかで, 移民国家の強みや弱み, 限界などについて深く考えることができました。
②留学後の予定

卒業は1年延ばし、就活と卒論に取り組みます。

**③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス**

留学という行為自体がどれほどの価値を持つのか、という問いに対する答えは自分の中でもまだはっきりとはしていません。それでも私が行って良かったと思えるのは、自分の国を一年離れることで、日本を外から見る視線というものを自分の中に持てるようになったからです。これは日本にいただけ、あるいは旅行で少し海外に行くだけ、ではなかなか得がたいものだと思います。意見の違いを認めながらも自己主張が求められる環境で学生として過ごした日々は、新しいこと慣れないことの連続で、確実に私の視野を広げてくれたと思います。

**その他**

**①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物**

**②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。**

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書（3ヶ月以上1年未満）

2016年 7月 13日

東京大学での所属学部・研究科等：	経済学部	学年（プログラム開始時）：	学部3
参加プログラム：	全学交換留学	派遣先大学：	オーストラリア国立大学
卒業・修了後の就職（希望）先：			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職（医師・法曹・会計士等） <input type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input type="checkbox"/> 5.民間企業（業界：    ） <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他（    ）			

<b>派遣先大学の概要</b>					
社会科学の研究に秀でた大学。キャンベラに位置する。					
<b>留学した動機</b>					
国際関係学の勉強、英語力の向上、多文化社会での生活、豊かな自然の享受、ゆっくり考える時間を得ること					
<b>留学の時期など</b>					
①留学前の本学での修学状況：	2015年	学部3	年生の	S 2	学期まで履修
②留学中の学籍：	留学				
③留学期間等：	2015年	7月～		2016年	6
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修：	2016年	学部4	年生の	A 1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期：	2017年	学部4	年生の	6月頃に	行う予定
⑥本学での単位数：	留学前の取得単位				単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位				単位
	留学後の取得（予定）単位				単位
⑦入学・卒業／修了（予定）時期：	2013年	4月入学		2018年	3
⑧本学入学から卒業／修了までの期間：		5年		ヶ月間	

⑨留学時期を決めた理由：
専攻を決めてから留学に行きたかった。
<b>留学の準備</b>
①留学先大学への入学手続き（手続きにあたってのアドバイスなど）
特になし。留学先大学から送られてくるメールの指示に従えばよい。
②ビザの手続き（ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど）
特になし。
③医療関係の準備（出発前の健康診断、常備薬、予防接種等）
指定の医療機関での健康診断がビザの取得に必要なだった。
④保険関係の準備（加入した海外旅行傷害保険・留学保険等）
東大指定のものに加え、ビザの取得のためにOSHCという政府指定のものに加入した。
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科（教育部）で行った手続きなど（履修・単位・試験・論文提出等に関して）
特になし。ゼミに関しては単位分割申請が必要であった。
⑥語学関係の準備（出発前の語学レベル・語学学習等）
受入大学の語学基準を乗り越えて突破する程度の語学レベルだったのでスカイプ英会話を利用して いた。
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
日本の歴史や文化について理解を深めておく

学習・研究について				
①履修した授業科目のリスト（授業を履修した場合） ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの（又は行う予定のもの）に●をつけてください。				
授業科目名	単位数	単位認定 の申請	授業科目名	単位数
マクロ経済学			公共経済学	
ゲーム理論		●	国際政治学	
開発経済学			国際関係学	
計量経済学				
労働経済学				
②留学中の学習・研究の概要（授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等）				
1つの科目につき週に2回、講義と少人数演習の授業がある。経済系：講義では理論と多少の応用例が説明される。毎週講義の内容に沿った課題が出され、少人数演習ではその解説を行う。国際関係学系：講義では、種々の概念とその適用例が紹介される。毎週講義の内容に沿った読書課題が出され、少人数演習では課題に沿って議論や発表が行われる。				
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間（授業時間・授業以外の学習時間）など				
1学期4科目 授業時間は週12時間ほど それ以外の学習時間は週8時間ほど				
④学習・研究面でのアドバイス				
学習内容は日本で扱うものと変わらないのに進度が遅い。座学より発表や議論中心の授業を取るべき。				
⑤語学面での苦労・アドバイス等				
日常の挨拶が重視される環境だったため、日常生活で会話量が増えてきたと感ずることがあっても会話の中身はごく簡単なことであることが多い。深い話ができるような友人を作って、内容の難しい会話もするように心がけるべき。				
生活について				
①宿泊先（種類（寮・ホームステイ・ルームシェア等）、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など）				
6人シェアの寮 月85000円				
②生活環境（気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法（海外送金・クレジットカード）など）				



夏の日差しの強さ以外はほとんど日本と変わらない気候、大学周辺は緑が多いが町の中心部へのアクセスも容易、交通機関はバスしかない、食事はドミノピザ以外高い、お金は現地銀行の口座を開設して管理した
③危機管理関係（留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など）
治安は良好、医療機関は数が少なく予約がしにくい
④留学に要した費用について（航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算）
・毎月の生活費とその内訳
寮費85000円食費25000円交際費5000円その他10000円
・留学に要した費用総額とその内訳
航空券代往復80000円
⑤奨学金（受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など）
東大に紹介されたものを受給
⑥学習・研究以外の活動（スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など）
卓球部、ジャパクラブ、言語交換
<b>派遣先大学の環境について</b>
①留学生へのサポート体制（語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等）
語学面でのサポートはほぼない、その他は充実している
②大学の設備（図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等）
図書館が24時間空いている 野外スポーツ施設は総天然芝な上無料で利用できるが、屋内スポーツ設備の利用料は非常に高い 食堂はなくレストランがキャンパス内にあるが高い
<b>留学と就職活動について</b>

①（就職活動を既に行った場合）留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
②（今後就職活動を行う場合）留学が就職に対する考え方に与えた影響
留学を通じて、日本に対する愛情の深さを知ったので、国益に貢献できるような職業に就きたいと思うようになった
③留学中の就職活動への対策など（もしあれば）
サマーインターンへの応募は、帰国前に行わないと間に合わないものが幾つかあった。
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職（法曹・医師・会計士等）（職名：      ） <input type="checkbox"/> 3.公的機関（機関名：      ） <input type="checkbox"/> 4.非営利団体（団体名又は分野：      ） <input type="checkbox"/> 5.民間企業（企業名又は業界：      ） <input type="checkbox"/> 6.起業（分野：      ） <input type="checkbox"/> 7.その他（      ）
<b>留学を振り返って</b>
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
日本人のそれと大きく異なる価値観を持った人たちと生活を共にして、その楽しさや苦しさを就活前に知れたことは意義深い。
②留学後の予定
日本で日本のために生きていきたいという気持ちが強い。
③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス
積極的になること、嫌だと感じることをあえてやること
<b>その他</b>
①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物
特になし

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。